

2011年  
8月28日

# 北海道新聞

発行所：北海道新聞社  
札幌市中央区大通西3丁目6  
〒060-8711 電話：011-221-2111  
www.hokkaido-np.co.jp

読者センター  
011-210-5888  
ご購入申し込み

0120-464-104  
北海道  
ヨロコブ  
ドット  
コム



元氣からはじめます。

## 中道リリース

http://www.nakamiciji-leasing.co.jp/

原発事故復興へ特別法早期に  
欠陥マンション業者が建て替え  
原発事故後 道産食材の宅配人気  
復興願う岩手でYOSAKOI  
再生エネ活用の道は

「無派閥」票奪い合い激しく  
論戦スタート 主張転換も  
都道府県連支持は前原氏トップ  
説得力は、政策は... 候補採点

## 民主党代表選関連ニュース

六甲山に表情豊かな展望台

経済10面／ぼん11、12、13面／生活14、15面  
甲斐・将棋29面／読者の声9面／小説9、28面  
日曜文芸27面／おくやみ29面／地方30、31面

天気 28日は、各地とも日中は晴れる。気温は平年より高く、内陸では30度ぐらゐまで上がる。残暑が厳しい一日。

|       |   |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| きょう6時 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | 24 | 27 | 30 | 31 |
| 札幌    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 旭川    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 小樽    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 釧路    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 帯広    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 旭川    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 稚内    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 網走    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 紋別    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 名寄    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 根室    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 釧路    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 帯広    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 旭川    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 稚内    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 網走    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 紋別    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 名寄    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |
| 根室    | 晴 | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  | 晴  |

# 道路ひび割れ補修に新工法

【標津】根室管内標津町の建設会社、篠田興業（篠田静男社長）は、道路にできたひび割れを補修する新工法の開発に力をつけてきた。公共事業費削減で新規道路建設の需要が減る中、維持管理工事で差別化を狙う。篠田社長は「実用化すれば改修のコストを削減できる」とメリットを強調する。

道路は完成から3〜6年たつと、アスファルトの舗装部分にひび割れができることがある。そこから雨水が入り込むと、舗装の0.5〜1.5センチ下にある砂利や砂が軟らかくなり地盤が弱くなる。車がその上を走ると振動で、道路に穴が開いたり削れたりすること

### 標津の篠田興業開発へ

があるという。ひび割れができるよう通常は表面を舗装する。しかし、これだけだと地盤が弱いままでその後すぐにひび割れが大きくなり、大規模な改修工事が必要になる場合もある。

新工法は建築物などの地盤を強くする「薬液注入地盤改良工法」を応用。ひび割れ部分の周囲に穴をあけ、砂利や砂を固める接着剤の役割をする浸透性固化剤をポンプで注入し、地盤を強化することで道路を長持ちさせる。

総務省の外郭団体「地域総合整備財団」（理事長）から、同財団の新技术を

活用した新商品づくりなどを支援する補助金90万円を受けて開発にあたる。11月末をめどにポンプの選定、接着剤の注入試験などを行い、商品化できるか見極める。

篠田社長は「ひび割れを早めに手当てすることで、その後の改修工事の頻度を減らし規模を小さくすることができる。実験が成功すれば全国で新工法を実践していきたい」と話している。

(長谷川裕紀)

## 薬液注入で地盤強化